

社会変化に適応するミカタの变革

話題提供 **林 靖人**さん (信州大学副学長)

日 時 **1月14日(土)** 午後1時30分～3時30分 (予定)

会 場 **あがたの森文化会館 講堂 第一会議室** 参加費 200円

※ 電話での事前申し込みが必要です

みなさんは、「ルビンの壺」と呼ばれる絵をご存じでしょうか。

壺（盃）と人の横顔の二通りに見える反転図形・多義図形のこと、小中学校の美術の教科書などでも紹介されることがあります。

この図の面白い点は、絵の情報量そのものが変化をしていないことです。

すなわち、ミカタ（認知の文脈）を変えられれば、物事は複数の意味や価値を見つけられることを表しています。

人口減少、コロナ、デジタル化など、様々な社会変化が起きています。これらの変化は既存の経験に照らし合わせるとストレスに感じることも多いでしょう。だからこそ、ミカタを変えて、過去の経験で創られた価値観を変え、別の意味や新しい価値を発見することが求められています。

さて、普段、私がいる大学という場所は、常に二十歳前後の学生が沢山います。私もその中で、日々変化を目にしては、新しい価値観を創り直しています。今回は、今起きている社会変化をみなさんと改めて捉え直し、新しい一歩に挑戦してみる機会を創り出してみたいと思います。

林靖人(はやし・やすと)さんは 1978 年生まれ、愛知県出身。信州大学人文学部卒業、大学院総合工学系研究科修了(博士:学術)。専門は感性情報学。ブランドを研究テーマとする。大学発ベンチャーでの社会調査や行政計画等の事業創出経験を活かし、現在は、信州大学の産学官連携事業やキャリア教育・起業家育成、持続可能な社会構築の推進を担当する。また、地域の地方創生総合戦略等の策定や地域活性化活動に多数関わる。

☆テーマに沿って話題提供者の話のあと、気楽に懇談。自由にご参加ください。

主催 サロンあがたの森実行委員会 共催 旧制高等学校記念館・記念館友の会

申込み・問合せ 旧制高等学校記念館 ☎ 35-6226 FAX 33-9986